

J.S.Foundation 「ミャンマー子ども医療支援プロジェクト」

2010年度 完了報告書

温かいご支援を頂き、2009年5月よりミャンマー中部ザガイン地区のワッチャ慈善病院において18歳以下の子ども達に対する無料医療支援を実施してきました。2010年度も引き続き、ご協力により以下の子ども医療サポートおよび小児用医療機器整備を実施してまいりましたので、ここに報告させていただきます。

《子ども医療サポート費》

[ワッチャ慈善病院]

	患者数	手術代	入院ベッド代	薬代	検査代	交通費	給食費	その他	合計 (月別)
4月	—	1,020,860	347,800	2,600	13,000	115,400	967,100	0	2,466,760
5月	49人	676,600	83,500	4,000	157,800	96,000	387,400	0	1,405,300
6月	42人	570,000	184,000	9,100	155,500	163,300	181,800	5,000	1,268,700
7月	40人	450,000	93,500	1,520	177,700	52,700	501,500	700	1,277,620
8月	55人	815,000	111,500	0	0	69,000	273,900	0	1,269,400
9月	31人	400,000	225,500	11,400	186,200	292,700	676,000	0	1,791,800
10月	24人	748,150	122,000	32,140	254,100	127,700	397,800	0	1,681,890
11月	47人	735,000	200,500	34,000	101,600	79,500	629,800	2,600	1,783,000
12月	51人	10,000	51,700	0	195,200	74,900	188,400	3,300	523,500
1月	27人	1,448,400	242,500	206,550	79,750	184,000	193,900	25,600	2,380,700
2月	16人	215,000	130,000	18,180	185,160	71,900	0	6,530	626,770
3月	94人	1,640,000	392,500	77,850	84,300	306,000	948,200	0	3,448,850
合計	476人	8,729,010	2,185,000	397,340	1,590,310	1,633,100	5,345,800	43,730	19,924,290
日本円換算		918,843	230,000	41,825	167,401	171,905	562,716	4,603	2,097,293

*1 ドル=96.80円 (2010年4月両替時) 1ドル=915チャット (2010年4月~2011年3月の両替時の中央値)

→以上より 1円=9.5チャット (以下同様)

*4月の患者数は、2009年3月の患者数70名の中で4月まで入院していた患者、4月に支払いを行った患者の費用となります。

今年度は、ワッチャ慈善病院において1年間に約2,097,293円の資金にて、合計476名の子ども達の治療を実施してきました。

(患者紹介)

1歳 女児 口唇裂 (こうしんれつ)



生まれつき唇の一部が裂けている口唇裂という病気にて、手術を受けた1歳の女児。ワッチャ病院では、このような子どもの口唇裂の手術を、年間に約100件実施している。

生後3日 男児 鎖肛 (さこう)



鎖肛という病気は、生まれつき肛門がなく、生後数日以内に手術を受けられなければ死亡する。生後3日目にお腹がパンパンに腫れた状態でワッチャ病院にやって来た患児は、すぐに緊急手術となった。そして手術後14日目には母親に抱かれて無事に退院となった。

〔日本での医療サポート〕

ミャンマー国内では治療困難な患者1名（アウン モー ルイン・4歳）が医療技術の発展した日本での治療を受けるための費用として、約417,864円の資金を使用させていただきました。



日本渡航前、ミャンマー・ワッチャ病院にて



岡山医療センターにて、担当医とともに

彼は生まれつき肛門がなく、生後数日以内に便を排出するための人工肛門の造設手術をしなければ死亡してしまう鎖肛（さこう）という病気にて、1歳の頃からワッチャ病院にて入院・手術を繰り返してきました。また、鎖肛のほかにも尿道下裂（にょうどうかれつ）という、生まれつき尿の出口が普通の人と違う病気も持っていました。そのため詳しい検査で状態を確かめた上で手術を行う必要があったのですが、ミャンマー国内では十分な検査が出来ず、ミャンマーでの治療は限界と考え日本での治療に踏み切りました。2004年より、ミャンマーからの患者の受け入れをお願いしている国立病院機構 岡山医療センターの協力にて、肛門および尿道の形成の手術を受けることができました。

日本での治療を無事に終え、現在は出身の村に戻り元気に生活しています。今後は、2011年12月に人工肛門を閉じる最終手術を行う予定となっています。この手術によって生まれてからずっと抱えてきた病気が完治する予定です。

渡航スケジュール

2011年3月14日	患者と母親、そして日本人看護師と通訳の4名で日本に向けて出発
15日	日本到着 岡山医療センター入院
16・17日	各種検査
18日	肛門形成・尿道形成手術

19日～ 入院療養
 4月15日 退院
 16日 ミャンマーに向けて日本出発
 17日 ミャンマー帰国

(会計報告)

	交通費	食費	医療関係費	渡航手続き	その他	合計
日本円	330,530	35,914	12,018	21,826	17,576	417,864

《小児用医療機器整備費》

小児患者の治療を安全に行うために、細かな状態観察を行うための患者監視モニターと、精密な手術を実施するための手術機器の整備を実施しました。



患者監視モニター

(会計報告)

患者監視モニター

購入品目	支払額 (US \$)	日本円換算
酸素飽和度測定モニター	924	89,443
患者監視モニター 本体	1,617	156,525
バッテリー	45	4,356
センサー	65	6,292
小児用センサー	120	11,616
専用ケーブル	45	4,356
携帯用酸素飽和度モニター	140	13,552
合計	2,956	286,140

小児用手術環境整備

購入品目	支払額 (US \$)	支払額 (チャット)	日本円換算
小児用手術機器	930	—	90,024
麻酔器用空気圧縮機	—	235,000	24,736
合計			114,726

2010年度 会計報告まとめ

使用項目		使用金額 (日本円)
子ども医療サポート費	ワッチャ病院子ども医療サポート	2,097,293
	日本での医療サポート	417,864
小児用医療機器整備費	患者監視モニター	286,140
	小児用手術環境整備	114,726
合 計		2,916,023

以上のように、支援金を使用させていただきました。温かい支援に感謝しております。今後とも引き続き温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。ご不明な点がございましたら、ご質問いただきますようよろしくお願いいたします。

〈報告者〉 ジャパンハート ミャンマープロジェクト

河野 朋子